

Catalyst 1000およびCBS250/CBS350スイッチのミニUSBコンソールポートの取り外し

目的

この記事の目的は、Catalyst 1000、Cisco Business 350、およびCisco Business 250シリーズスイッチのミニUSBコンソールポートを取り外す変更を説明することです。

該当するデバイス

- Catalyst 1000
- CBS350
- CBS250

概要

コンソールポートは、シリアル接続を介してコマンドラインインターフェイス(CLI)にローカルにアクセスするために使用されます。CLIを使用して、特にネットワークが使用できない場合の設定とトラブルシューティングを行うことができます。

Catalyst 1000、Cisco Business 350、およびCisco Business 250シリーズスイッチのミニUSBコンソールポートを取り外すように変更されました。RJ45コンソールポートは該当しません。RJ45コンソールケーブルを使用して、スイッチのコンソールポートにアクセスできます。

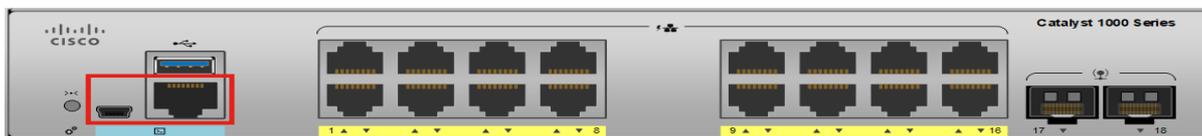
目次

- [ミニUSBポートの取り外し](#)
- [対象製品](#)
- [元のハードウェアでのコンソールポートの使用](#)
- [アップデートされたハードウェアでのコンソールポートの使用](#)
- [ネットワーク接続でスイッチを管理するその他の方法](#)
- [サポート](#)

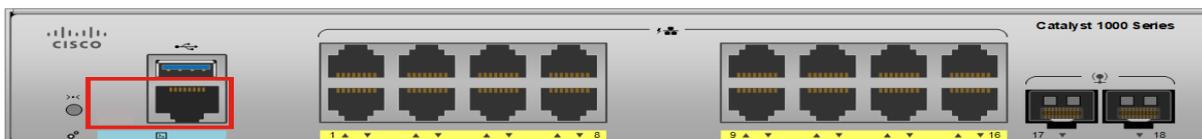
ミニUSBポートの取り外し

次の図に、この変更を示します。

元の設計では、RJ45またはミニUSBポートを介してコンソールにアクセスできます。赤で囲まれた青い線の上のポートに注目してください。USBポートは左側にあります。



変更後、RJ-45コンソールポートだけが残ります。



対象製品

この変更は、新しいハードウェアバージョンの次のスイッチモデルに適用されます。
このバージョンは、次のバージョンID番号(VID)から始まります。

製品ID(PID)は、新しいハードウェアバージョンでも同じです。スイッチの注文時に、元のハードウェアバージョンを使用するか、新しいハードウェアバージョンを使用するかを選択することはできません。

シリーズ	モデル	VIDから開始
Catalyst 1000	C1000-8T-2G-L	V02
	C1000-8T-E-2G-L	
	C1000-8P-2G-L	
	C1000-8P-E-2G-L	
	C1000-8FP-2G-L	
	C1000-8FP-E-2G-L	
	C1000-16T-2G-L	
	C1000-16T-E-2G-L	
	C1000-16P-2G-L	
	C1000-16P-E-2G-L	
	C1000-16FP-2G-L	
	C1000-24T-4G-L	
	C1000-24PP-4G-L	
	C1000-24P-4G-L	
	C1000-24FP-4G-L	
	C1000-48T-4G-L	
	C1000-48PP-4G-L	
	C1000-48P-4G-L	
	C1000-48FP-4G-L	
	C1000-24T-4X-L	
	C1000-24P-4X-L	
	C1000-24FP-4X-L	
	C1000-48T-4X-L	
	C1000-48P-4X-L	
	C1000-48FP-4X-L	
	C1000FE-24T-4G-L	
	C1000FE-24P-4G-L	
	C1000FE-48T-4G-L	
	C1000FE-48P-4G-L	
	C1000-16T-2G-IN	
	C1000-16P-2G-IN	
	C1000-16FP-2G-IN	
	C1000-24T-4G-IN	
C1000-24P-4G-IN		
C1000-24T-4X-IN		
Cisco Business 350	CBS350-8T-E-2G	-NA/-AR/-BRのV03

シリーズ マネージ
ドスイッチ

-EU/-UK/-AU/-CN/-JP/-IN/-TW/-
SPのV05

CBS350-8P-2G
CBS350-8P-E-2G
CBS350-8FP-2G
CBS350-8FP-E-2G
CBS350-16T-2G
CBS350-16T-E-2G
CBS350-16P-2G
CBS350-16P-E-2G
CBS350-16FP-2G
CBS350-24T-4G
CBS350-24P-4G
CBS350-24FP-4G
CBS350-48T-4G
CBS350-48P-4G
CBS350-48FP-4G
CBS350-24T-4X
CBS350-24P-4X
CBS350-24FP-4X
CBS350-48T-4X
CBS350-48P-4X
CBS350-48FP-4X

Cisco Business 250
シリーズ スマート
スイッチ

-NA/-AR/-BRのV03
-EU/-UK/-AU/-CN/-JP/-IN/-TW/-
SPのV05

CBS250-8PP-E-2G
CBS250-8P-E-2G
CBS250-8FP-E-2G
CBS250-16T-2G
CBS250-16P-2G
CBS250-24T-4G
CBS250-24PP-4G
CBS250-24P-4G
CBS250-24FP-4G
CBS250-48T-4G
CBS250-48PP-4G
CBS250-48P-4G
CBS250-24T-4X
CBS250-24P-4X
CBS250-24FP-4X
CBS250-48T-4X
CBS250-48P-4X

元のハードウェアでのコンソールポートの使用

スイッチにミニUSBコンソールポートがある場合は、引き続きサポートされます。ミニUSBまたはRJ45コンソールポートを使用して、スイッチコンソールにアクセスできます。一度にアクティブにできるポートは1つだけです。コンソールにアクセスするポートに適切なケーブルを使用します。

アップデートされたハードウェアでのコンソールポートの使用

ミニUSBコンソールポートがない場合でも、スイッチコンソールにはRJ45コンソール

ポートからアクセスできます。コンソールポートをコンピュータに接続するには、コンソールケーブルが必要です。通常、コンソールケーブルの一方の端にはDB-9ソケットがあり、もう一方の端にはRJ-45コネクタがあります。コンピュータにシリアルポートがない場合は、シリアルからUSBへのアダプタが必要になることがあります。

ネットワーク接続でスイッチを管理するその他の方法

有効にすると、SSHまたはTelnetを使用してCLIにアクセスできます。

スイッチのWebユーザインターフェイスには、ブラウザからHTTPまたはHTTPSでアクセスできます。

サポート

この変更に関する質問や、コンソールポートの使用に関する問題がある場合は、システムサポートにお問い合わせください。

- [Catalyst 1000](#)
- [CBS350/CBS250](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。